

報告事項 1

平成30年度事業報告について

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材・団体等を育成し、それらの積極的な活用を推進するため、次の事業を行った。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬の自然・歴史・文化・人物など多様な分野の学習を通して、但馬の再発見、地域に対する誇りや愛着心の醸成することなどを目的に13講座を実施した。

また、但馬の歴史遺産に学ぶ現地学習を行った。

(1) 但馬ふるさとづくり大学

- ① 期 間 平成30年5月12日開講・11月10日閉講
- ② 会 場 養父市、豊岡市
- ③ 受講者数 85名 ※修了者62名（10講座以上出席者）
- ④ 講座内容 9日間13講座（現地学習含む）

開催日	内 容
5/12(土)	<開講式> ①『湯村温泉 半径400mのまち創り』 講師 朝野 泰昌氏（湯村温泉観光協会会長）
6/2(土)	②『～御崎の平家伝承～余部鉄橋の歴史から地域の活力へ』 講師 石松 崇氏（香美町教育委員会主幹）
7/14(土)	③『たくあん和尚について』 講師 小原 游堂氏（宗鏡寺「沢庵寺」住職） ④『但馬でのある漫画家の暮らし』 講師 ひうら さとる氏（漫画家）
8/4(土)	⑤『海の付加価値からの創造～魚醤の商品化へ向けて～』 講師 村瀬 晴好氏（但馬漁業協同組合代表理事組合長） ⑥『ふるさとの文化を守る・活かす』 講師 森 隆男氏（元関西大学文学部教授）
8/19(日)	⑦<但馬文教府夏期大学－特別講座－> 会場：豊岡市民会館 『みんな地球に生きるひと～地域の国際化と子どもの未来～』 講師 アグネス・チャン氏 『コウノトリ翔る郷～あしたのふるさと但馬の創生～』 講師 柳生 博氏

9/1(土)	⑧『但馬の良さを再認識～食を通じて地域の活性化へ～』 講師 福丸 泰正氏（道の駅「但馬のまほろば」支配人兼駅長） ⑨『「道」ストーリーをレジェンドに～映像「鉱石の道・銀の馬車道」の制作から観えたこと～』 講師 藤原 次郎氏（映像作家）
9/9(日)	⑩ 第13回但馬検定試験
10/6(土)	⑪現地学習 会場 但馬国分寺跡ほか ⑫『遺跡からみた奈良・平安時代の但馬』 講師 仲田 周平氏（豊岡市立歴史博物館学芸員）
11/10(土)	<受講生自主研究発表会> ⑬『杞柳細工体験を通じて～伝統工芸の魅力を伝承～』 講師 寺内 卓己氏（伝統工芸士） <閉講式>

(2) ふるさとづくり大学聴講制度

仕事の都合等で継続的な参加が難しい方に学習の機会を提供するため、興味のある講座、都合のつく日の講座だけを選んで受講できる聴講制度を29年度に引き続き導入した。

・受講実績 11講座25名



(10/6 但馬国分寺館：現地学習)



(11/10 杞柳細工体験)

2 未来を担う人材育成事業

但馬の将来を担う子供たちに、但馬の産業や優れた技術を持つ企業等について学ぶ機会を提供することにより、地元への愛着や誇りに思う心をはぐくみ、また、将来的に但馬で就職するきっかけづくりを目的として実施した。

たじまお仕事探検隊

開催日	内 容
8/20(月)	『漁師さんのお仕事を探ろう』 場 所 但馬漁業協同組合（香美町香住区若松） 参加人員 23名（小学校3～6年） 内 容 仕事の説明、冷蔵施設・漁船見学、魚の調理・試食
12/25(火)	『本の達人 兵庫ナカバヤシさんのお仕事を探ろう』 場 所 兵庫ナカバヤシ（養父市大屋町笠谷） 参加人員 14名（小学校4～6年） 内 容 仕事の説明、工場見学、本の修理実演を見学、製本技術を使ったオリジナルカレンダーの作成

〈但馬漁業協同組合〉



(8/20 漁船見学)



(8/20 調理体験)

〈兵庫ナカバヤシ〉



(12/25 製本工場見学)



(12/25 本の修理実演見学)

3 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

また、ミニ検定講座や事前講習会を開催するなど、検定のPRや裾野の拡大に努めた。

(1) 第13回但馬検定

① 試験日 平成30年9月9日（日）

② 試験場所 但馬長寿の郷

③ 試験結果 () 前回結果

区 分	1級(80点満点)	2級(80点満点)	3級(100点満点)	合 計
受 検 者 数	52名 (38名)	30名 (48名)	101名 (51名)	183名 (137名)
合 格 者 数	6名 (15名)	9名 (38名)	66名 (45名)	81名 (98名)
合 格 率	11.5% (39.5%)	30.0% (79.2%)	65.3% (88.2%)	—
平 均 点	56.0点	52.1点	73.3点	—
最 高 点	77点	72点	97点	—
最年少合格者	37才	26才	20才	—
最高齢合格者	70才	72才	76才	—
合 格 基 準	70問以上正答 (正答率87.5%)	60問以上正答 (正答率75%)	70問以上正答 (正答率70%)	—

④ 特 徴

- これまでから申込みのあったJR西日本福知山支社、但馬県民局の2団体に加え、新たに全但バス、豊岡商工会議所青年部、郵便局但馬地区連絡会から団体申込みがあり、受検者が大幅に増えた。
- 団体申込みでは、20代・30代の受検者が多く、3級の平均年齢が48.9歳から40.6歳と大幅に若くなった。
- 県外の受検者は東京都や京都府等から15名受検され、5名合格した。
- 3級で但馬在住の外国人1名の受検があり合格した。



(1級検定会場)



(3級検定会場)

(2) 検定PR事業

各種イベント等でのPR及び検定を模擬的に体験するミニ検定講座を実施するとともに、検定に向けた学習ポイントの解説を行った。

また、事前講習会を開催して但馬検定への受検意欲を高めた。

① ミニ検定講座

平成30年5月29日 みてやま学園大学院において検定模擬試験実施

② 事前講習会

平成30年8月30日 豊岡稽古堂（豊岡市）で実施 83人受講

平成30年9月1日 但馬長寿の郷（養父市）で実施 65人受講



(5/29 検定模擬試験 みてやま学園大学院)



(8/30 事前講習会 豊岡稽古堂)

Ⅱ 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1 たじま田舎暮らし推進事業

「たじま田舎暮らし情報センター」に専門の相談員を配置し、相談業務や情報提供を行うとともに、管内市町等と連携して下記の事業を実施した。

(1) 空き家見学ツアーの実施

但馬地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している人を対象に空き家見学に特化したバスツアーを実施した。

① 実施日 平成30年9月29日（土）

② 場 所 朝来市

③ 参加者 5組9名

（大阪府、京都府、和歌山県、神戸市、西宮市）

④ 内 容 空き家5物件見学、先輩移住者との交流

⑤ 協 力 兵庫県宅地建物取引業協会但馬支部



(空き家見学 朝来市和田山町竹田)



(先輩移住者との交流)

(2) 情報発信

たじま田舎暮らしポータルサイト「ひょうご北部で暮らす」でI J Uターンに関する情報を積極的に発信した。

- ・ホームページによる情報発信 (H31.3 末現在)

ユニークアクセス PV 数 41,672 件

ユニークアクセス訪問者数 8,649 件

(3) 移住相談員の配置

但馬の移住ガイドブックを活用し、田舎暮らしの PR イベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

- ・首都圏及び京阪神でのイベント及び相談会等

ふるさと回帰フェア大阪 ほかに 11 回、相談件数 134 件 (H31.3 末現在)

(4) 移住体験ツアーの実施

移住に関心のある者を対象に先輩移住者との意見交換、子育て支援施設・空き家の見学、街並みの見学などを行う体験型バスツアーを実施する予定であったが、前日の西日本豪雨のため、中止となった。

(参考) 予定していた事業内容

① 実施計画 平成30年7月7日(土)～8日(日)

② 場 所 豊岡市、養父市

③ 申込者 8家族15名

(東京都、大阪府、神戸市、尼崎市、明石市、高砂市)

④ 内 容 空き家物件見学、お試し住宅見学、たじま暮らしセミナー、先輩移住者との交流会、自然アクティビティ体験 等

(5) ひょうご北部移住&仕事フェアの実施

移住後の仕事についてもワンストップで相談できる移住・しごとフェアを管内市町やハローワーク、農林漁業の各組合など12団体が出展して大阪で開催した。

- ① 実施日 平成30年12月9日（日）
- ② 場 所 OMMビル（大阪市）
- ③ 参加者 34組49名



（移住相談コーナー）



（特別セミナー）

(6) 近隣府県と連携した移住・定住対策の実施

社会・経済的に広域的な繋がりのある京都府、鳥取県と連携した移住・定住対策事業を実施した。

- ① 但丹セミナー（京都府との連携事業）
 - ・実施日 平成30年8月4日（土）
 - ・場 所 大阪ふるさと暮らし情報センター（大阪市）
 - ・参加者 16組19名
- ② いなば・たじま来楽暮カフェ（鳥取県との連携事業）
 - ・実施日 平成30年10月20日（土）
 - ・場 所 大阪ふるさと暮らし情報センター（大阪市）
 - ・参加者 14組17名



（8/4 但丹セミナー）



（10/20 いなば・たじま来楽暮カフェ）

(7) たじま暮らしセミナー事業

地域おこし協力隊をテーマに、但馬3市2町が参加し、先輩移住者との交流や個別相談を通して、各市町の細かな違いも理解できる機会として実施した。

- ・実施日 平成31年3月2日（土）
- ・場 所 Largo 中之島（大阪市）
- ・参加者 5組10名



(8) コンシェルジュ活動支援事業

但馬地域の交流人口の拡大、I J Uターン等の移住を促進するため、移住支援活動を行う事業者に助成を行った。

助成金申請件数 2件

- ・先輩移住者、移住希望者、地元住民との歓迎交流会（朝来市）
- ・漁村暮らし体験シェアハウスの活動紹介冊子の作成（新温泉町）

2 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的で大規模なイベントについて、その実行委員会に対して支援を行った。

(1) 但馬“牛まつり”

- ① 開催日・来場者 平成30年9月23日（日） 20,000人（プレイベント含む）
- ② 助成金額 2,100千円
- ③ 開催場所 兵庫県立但馬牧場公園

(2) 但馬・食文化まつり

- ① 開催日・来場者 平成30年10月14日（日） 20,000人
- ② 助成金額 2,100千円
- ③ 開催場所 イオン和田山店駐車場

3 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

(1) ホームページ「但馬情報特急」の運営・充実

平成17年の開設以降、部分的なりニューアルを繰り返してきたことからサイトが複雑化していたため、サイトを整理し、利便性の向上を図るとともに、スマートフォンでの閲覧に適応したサイトデザインとするため、ホームページの全面リニューアルを実施した。また、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を、多分野にわたり収集し提供した。

① H30.8～H31.3月末のアクセス状況

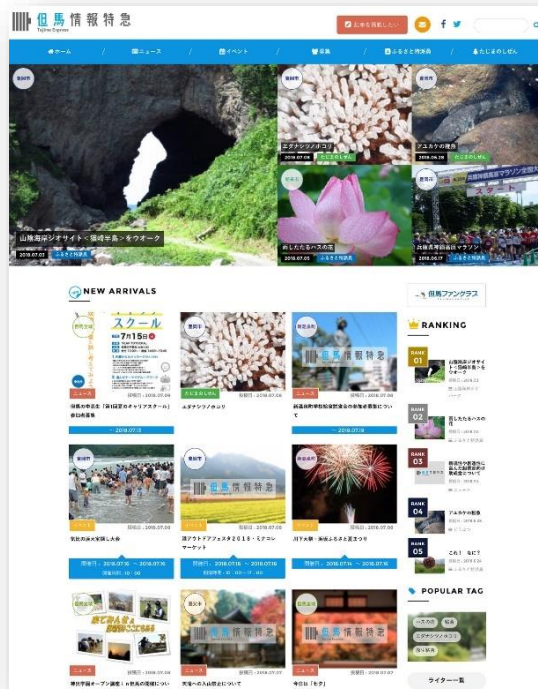
- ・ユニークアクセスPV数 348,764件
- ・ユニークアクセス訪問者数 83,193人

② 新サイト移行後の特徴（カッコ内は旧サイト前年実績）

- ・モバイルからのアクセス率 47.8% (42.3%)
- ・SNSからのアクセス数 17,779件 (4,984件)
- ・平均ページ閲覧数 2.43ページ (1.89ページ)
- ・平均閲覧時間 1.56分 (1.16分)



旧サイトトップページ



新サイトトップページ

(2) 地域情報発信事業（但馬ツーリズムマップ(vol.13)の制作)

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的にマップを制作した。
発行経費を下げるために広告を導入するとともに、観光客や企業から好評を得ていることから発行部数を増やした。

- ・部 数 20,000 部
- ・配布先 JRの各駅、道の駅、宿泊施設、観光施設など

(3) 情報誌「T2」発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回（6月、11月、3月）
- ② 発行部数 各9万部
- ③ 仕 様 A4判カラー印刷（20ページ）
- ④ 配 布 先 但馬内7万部、但馬外2万部配布
 - ・但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、近隣官公庁、金融機関、旅行社、報道機関など
- ⑤ プレゼント企画
誌面上で但馬検定ミニクイズを実施。年3回、50名程度に但馬の特産品（主に食品）をプレゼント。
 - ・30年度3回実施、応募総数593名

(4) その他の地域情報発信事業

- ① 但馬まるごと感動市へのブース出展
 - ・日 時 平成30年11月10日（土）～11日（日）
 - ・場 所 全但バス但馬ドーム
 - ・内 容 但馬ファンクラブPR、但馬田舎暮らしイベント広報、観光パンフレットの配布
- ② 神戸ルミナリエ観光ブースの活用
 - ・日 時 平成30年12月12日（水）
 - ・場 所 神戸東遊園地内
 - ・内 容 但馬ファンクラブお試し会員の募集、観光パンフレットの配布

4 首都圏PR推進事業

メルマガ会員（3月末：1,668人）へ月2回ペースでメルマガなど首都圏へ向けた情報発信を行った。

5 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともにイベント会場などで会員を募集した。

(1) 加入状況

区分	但馬内	但 馬 外				合計	1年 会員	3年 会員
		県内： 但馬除	近畿内： 県内除	近畿外	小計			
H30.3 末	832	739	289	166	1,194	2,026	1,042	984
H31.3 末	796	634	306	141	1,081	1,877	899	978
増減	△36	△105	17	△25	△113	△149	△143	△6

(2) 会員に対する特典の付与

- ① 施設利用（3月末220施設）の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品プレゼント
年4回、各50名に特産品が当たるプレゼント企画を実施する。
※30年度 応募者対象3回（応募総数543名）、全会員対象1回実施済
- ④ 但馬のミュージアム招待券配付
但馬内の8つの美術館等で無料入館できる招待券を提供した。
 - ・実施期間 平成30年4月7日（土）～11月4日（日）
 - ・対象施設 玄武洞ミュージアム ほか8施設
 - ・来場者数 323人

(3) 入会PR事業

各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 各種事業との連携によるプレゼント企画
 - ・但馬検定事業との連携：1,2級合格者への特典 新規加入13名
 - ・日本旅行との連携：但馬への旅行商品購入者への特典 新規加入70名
 - ・播但道路利用キャンペーンとの連携 応募者の中から抽選 新規加入180名
- ② その他イベントでの勧誘活動等
 - ・ひょうご博覧会 in 大阪 2018 (H30.7.28)
 - ・但馬まるごと感動市 (H30.11.10～11)
 - ・冬のまほろば祭 (H30.11.23)
 - ・神戸ルミナリエ (H30.12.12)

Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

自然環境保全運動等のための地域住民運動を盛り上げ、但馬の美しい自然環境を積極的に守るため、次の事業を行った。

1 魅力ある但馬の森・川・海・里環境保全事業

(1) クリーン但馬支援事業

環境美化活動等を行うクリーン但馬 10 万人大作戦に要する経費の一部を助成した。

- ・ 助成団体 クリーン但馬 10 万人大作戦推進協議会
- ・ 助成金額 1 0 0 千円

(2) サケ回帰促進支援事業

河川・水質環境保全運動の普及啓発を目的に、地域の子どもたちにサケの発眼卵を提供し、放流を通して自然環境学習を行うサケ回帰促進事業に要する経費の一部を助成した。

- ・ 助成団体 岸田川漁業協同組合
- ・ 助成金額 1 7 0 千円

2 その他但馬ふるさとづくり事業

(1) 自然環境学習事業

ホームページ但馬情報特急内の子どもが自然環境学習できるコーナー「たじまのしぜん」ブログをNPOコウノトリ市民研究所に運営委託した。

- ・ 投稿回数 毎月 4 件以上
- ・ ブログの閲覧数
- ・ 委 託 料 1 2 0 千円（1 0 千円／月）

Ⅳ 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

(1) 第 5 6 回理事会

期日 平成 3 0 年 5 月 2 3 日（水） 場所 じばさん TAJIMA

(2) 第 5 7 回理事会

期日 平成 3 1 年 2 月 1 2 日（火） 場所 じばさん TAJIMA

2 評議員会

(1) 第 1 8 回評議員会

期日 平成 3 0 年 6 月 1 4 日（木） 場所 じばさん TAJIMA

(2) 第 1 9 回評議員会

期日 平成 3 1 年 3 月 1 2 日（火） 場所 じばさん TAJIMA